

放課後等デイサービスの現状

ようやく秋が深まってきました。月1回のアウトドアクラス、11月は大雨の中開催しました。帰るころには雨も止み、少しずつ色づいてきている山を眺めながら散歩をしました。

さて、先日「障害のある子どもの権利」を考え合う・第3回学習会に参加しました。学童保育と放課後等デイサービスの現状と課題を、立命館大学の田村教授と全国放課後連の事務局次長の真崎さんからお話を伺いました。この研修の内容を今月と来月に分けてお伝えしたいと思います。

と思います。放課後等デイサービスの現状としては、

(1)利用児童数・事業所数の増加

37万6188名、2万2169ヶ所。運営主体の6割近くが営利法人になっている。福祉サービス等の予算額、障害児向けサービスは直近20年間で5倍の増加。2020年の調査では、営利法人参入の伸び率が直近5年で放課後等デイで「+68%」児童発達支援で「+111%」も増加しているということでした。営利法人＝質の低い事業所、(又は金儲けの為に開所した事業所)と思われがちな昨今、当法人も同じ営利法人として、辛いところはあります。

(2)こども家庭庁の創設

2023年4月からはこども家庭庁が創設されて、放課後等デイサービスの管轄はこちらに移行されました。その時の家庭庁の加藤鮎子大臣からは「子どもは遊び、生活、集団の中での様々な体験や経験を通じて成長していくものであり、こうした視点を持ちながら支援を行っていく事も重要でありまして…(中略)」とあり、放課後等デイの趣旨を「何かができるように訓練するところ」ではなく、「遊び、生活、集団」の大切さを認識してもらえていることは納得のいくところです。

(3)改正児童福祉法施行

2024年4月まで、放課後等デイサービスでは事業所で子どもたちに「訓練」をする場という認識でした。しかし今回、定義の改正があり『「訓練」の文言は、障害を治すもの、克服すべきもの等と捉える表現であり、相応しくないという指摘もあることから、この点については関係者に誤解を与えないための対処について、他法令との整合性等の観点も含め、検討を深めることが望まれる』とあり、「訓練」から「支援」に変更されました。

(4)運営基準の改正、2024年度報酬改定

①子どもの意思の尊重、最善の利益の優先考慮がさらに強調されました。(最善の利益は発足時から謳われています。)②報酬改定があり、さらに仕組みが複雑化されました。基本報酬が上がらず、その分加算の条件が増えました。増えたのは良いものの、その要件は複雑化、事務作業は煩雑化しています。複雑化、煩雑化することとは、私たち指導員が子どもたちのために準備する時間や会議、研修の時間がそれだけ削られるということです。このような現在の状況に対して次回の12月号では、課題についてお伝えしたいと思います。郡 奈美



マスクの予備についてのお願い



現在、クッキングをする際にマスクを着用して行っております。子どもの着用しているマスクの予備を帳票袋の中に入れて、マスクケースに名前をご記入くださいますようお願い致します。

マスクの落とし物



Angie 服部でお名前が無く誰のかわからないマスクがあります。お心当たりのある方はご連絡ください。

さくら先生なおこ先生
自己紹介おねがいしま〜す!

新しいスタッフの紹介

はじめまして。6月からスタッフとしてお世話になっております。早川さくら(はやかわさくら)です。Angieで働き出して5ヶ月が経ちました、Angieの子どもたちは毎日元気いっぱい私とたくさんパワーをもらっています。まだまだ学ぶことがたくさんある私ですが子どもたちと関わりながら成長できるように頑張りたいと思っています。これからもよろしくお願い致します!

さくら先生



なおこ先生



こんにちは!9月からスタッフとしてお世話になっております。赤坂尚子(あかさかなおこ)です。明るさだけが取り柄です。ただ、せっかちなので、世話焼き“おせっかいおばさん”を封印して、子どもたちの“自分でやりたい!”という気持ちを大切に、そばで見守ることを心掛けています。Angieでの活動を通して、少しずつできるようになっていく子どもたちの笑顔に感動!楽しいです。日々の積み重ねの大切さを実感。私も子どもたちと一緒に成長できたいな〜と思っています。どうぞよろしくお願い致します!



※がらがらどんを持っています



10月24日、仮装をして自分で作ったハロウィンバッグをもって、地域にお菓子をもらいに出かけました。前日までに仮装をしたり、「トリックオアトリート!」と言ってお菓子をもらうやり取りをしたりしていた子どもたち。当日を楽しみにしていたのか、学校から帰って来るや否や、急いで準備して好きな仮装に着替えていました。準備ができたなら、いざ出発!道中、地域の方に「ハロウィン楽しそうやね〜!」「いってらっしゃい!」と声をかけられ、手を振りながらお店へ向かいます。そしてお店についてお菓子をもらった子どもたちは、これは僕の!と言わんばかりに大事そうにバッグに入れたり、中のおやつが気になるのかじっと見つめたりしていました。もらったお菓子は兄弟、家族と分け合った子もいれば、毎日ちょっとずつ食べた子もいて、たくさんのお菓子が大満足の子どもたちでした。今回協力いただいた煮干しラーメン専門店うしお、訪問介護事業所あいる、上野内科、バレー教室、そして地域の皆様、本当にありがとうございました。